
桐山光の探偵道

猫太助

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桐山光の探偵道

【Zコード】

Z5930A

【作者名】

猫太助

【あらすじ】

普段はこれと書いて目立つ事は無い中学生桐山光。しかし一度事件が起きると彼の本当の顔が表れる!・・・・・のか?

プロローグ

だだだだだ・・・・・

バタン！

「うああ！ 遅刻！」

扉を蹴り開けて出て来たのは、桐山光^{きりやま みつる}。東第一鍊量高等学校所属四賀野中学校（ひがしだいにれんりょうこうとうがっこう）の第一学年の生徒だ。・・・・・ちなみに、この話の主人公だ。

余りにも長いこの学校の名前を地元の学生はこう略して居る。

四賀中。

あの長さが三文字と言つのも考え方だか、地元の学生は正式名称を覚えているのだからよしとしよう。

「説明長いよ！」突然叫んだ光を見て、どこかの子供が言つた。
「ママー。あのお兄ちゃん変な事言つてるよ。」

すると、親であろう声が言つた。

「見ちやいけません！」

その親子だけではない、道行く人が光をなんだコイツ。といつて見ていた。

「・・・くつ。」

それだけ言つと光は学校に向かつて駆け出した。

プロローグ（後書き）

初めまして。 猫太助と申します。 まだまだ未熟ですが、
最後までお付き合いくださいさつていただけたら光栄です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5930a/>

桐山光の探偵道

2010年10月20日12時13分発行